



教員について 山形 与志樹

○プロフィール

東京大学教養学部システム基礎科学科卒
同大学院・広域科学専攻で博士(学術)
1991年より国立環境研究所に30年間勤務
気候変動政府間パネル(IPCC)代表執筆者

○専門分野

応用システム分析、土地利用・交通モデル、
気候変動緩和・適応策、生態系サービス評価、
空間ビッグデータ解析、持続可能な都市システムのデザイン

○担当授業

持続可能都市システム基礎(日本語)
持続可能都市システム応用(英語)
都市システムデザイン演習(日・英)



各種サービスの提供



研究について 未来社会共創イノベーション研究室

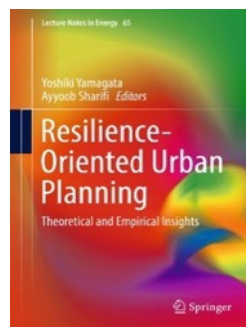
<https://yamagata.sdm.keio.ac.jp/>

持続可能な未来社会の実現に向けて、社会課題解決や新たな価値を創造する社会システムを都市や地域の関係者と共創するイノベーションについて研究します。

特に、「環境」と「健康」が好循環する未来社会の実現を目指して、都市と地域をつないだ新しい働き方、住まい方、移動手段を組み合わせたライフスタイルとして、都市システムをデザインするフレームワークの開発に取り組みます。

- 都市システムの持続可能性評価
- 都市システムのデータ解析
- 都市システムのデザイン

2018
Springer



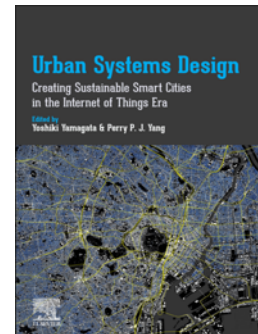
気候変動の緩和・適応策を組合わせて都市の気候レジリエンスを高めるための都市計画の理論と応用を研究

2019
Academic Press



各種ビッグデータを解析する空間統計学的手法を開発しマルチスケールでの都市システム分析への新たな応用の可能性を研究

2020
Elsevier



IoT時代の多様なスマート技術を用いて建築・交通・人間行動を融合して都市システムをデザインする手法の理論と応用について研究



教育・ゼミ活動について

○持続可能な都市を構築するため、**革新的なライフスタイルへの転換**を可能とする都市システムデザインについて総合的に学習します。

○授業では、**多様なスマート技術の導入を統合**して都市システムをデザインするために必要な知識や技術を学びます。

○ゼミ(ラボ)では、国内外の最新のスマートシティなどの開発動向を概観しつつ、**具体的な都市システムのデザイン**についてスタジオ形式で体験します。



イノベーション



ゼロ・カーボン



ビジネスゲーム



超スマート社会



都市デザイン



次世代モビリティ



ウェルビーイング



気候変動

研究室ゼミ(ラボ)



持続可能スマートシティ



空飛ぶクルマ



社会 & ビジネスゲーム